

2020年 1月発行

山梨県 桃の会

HP <http://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第64号

Going my way !

自分の心が感じるように
自分の感情を感じながら
自分の考えや思いを語り
自分の思う方向へ自由に飛び立てばいい
「自分の道」は「自分だけ」のものだから・・・
人と違っている、異なっている、だからおもしろい☆



「新しい年、令和2年のスタートです！」

今年も皆様と共に考え、悩み、苦しみ、喜び合える
桃の会でありたいと思います

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



様々な要因の中で

ひきこもる人に発達障害の特性を持った人が多いと感じている。診断や告知を受けたことのない人も多い。私はただの親であり専門家ではないが自分の子供がASDであり31年あまり関わる中でそういう特性をとて感じ易い親になったのかもしれない。しかし私はひきこもる事や社会に繋がりにくい事を発達障害の特性のみを原因にしてはならないと思うようになった。発達障害であるかそうでないかということではなく、生きづらさや引きこもる要因は彼らが幼児期いかに「無条件に愛される」経験を持ったかということが生きることのベースになるのではないかと思うからである。

発達障害の特性を持っていることは、乳幼児検診などで判明することが多くなった。早期に子供の特性を知ることは、とても大事なことで、丁寧な関わりと子供のありのままを受け入れるという親の姿勢と周りの理解ある環境が必要である。

そうすれば彼らは特性を持ちながらも、人間として豊かに成長し、彼らなりの生き方を模索できるようになるのではないかと思う。彼らを生きづらくしている原因として、社会的排除や特性に対する偏見、理解の乏しさ故に、彼らの中に育ちにくいアイデンティティーや自己肯定感の育ちを妨げているのも大きな要因だと思う。

しかし「無条件に愛され、受け入れられる」経験が根底にあれば、根拠のない自信(どこかで自分を信じている)に支えられ生きるエネルギーとなるのではないか！確かに発達障害の特性故の生きづらさと、親にとっての育てにくさはある。

こだわりの強さ、想像力の弱さ、過敏さ、興味の狭さ、情報の取り入れ方等々…

生きづらい要素をそれぞれに持っている。

周りに合わせて「変える」ということはできにくい。

例えば目の不自由な人に「ちゃんと見なさい!」とっているのと同じだからである。

幼児期に培った「無条件の愛」は人生を何十年と生きていく為の土台である。土台が揺るぎないものであれば障害を乗り越える力になるのではないかと思うのである。それと社会の偏見と無理解の壁を作らない事は言うまでもない。。発達障害の人の臨機応変さを問う前に私達のこの社会に臨機応変さがあるかというとうどうだろう……？

障害を問題とする以前に問題としなくてはならないのは、一人の人間としての揺るぎない育ちの土台が育てられているのかである。息子を長い間診て下さった精神科の先生の口癖は「病院に来る人だけが障害者ではない」だった。一人一人の育ちの土台が社会の土台となり誰でも生きやすい社会の発信基地となるはずである。

ひきこもった人や発達障害の人が身を持って提示してくれている問題をしっかり受け止め少しでも希望を次世代に繋ぎたいのだ。

.....*****

sino



真剣な語らいでした！ カフェ&トーク

テーマは①ゴールについて②父親が息子を殺害した事件について、3つのグループに分かれて話しました。参加者の中に「子供が仕事を始めた」という方も何人かいらっしゃいました。しかし、家族にとってそれがゴールという認識ではなく本人の意志を大事に見守っていきたいという考え方に変化しつつあると感じました。②の親が子供を殺害するという悲しい現実「何故第三者に相談しなかったのか!」みんなの一致した意見でした。私達が同じような立場に置かれた時果たしてどのような行動をとるのでしょうか？自分の身に置き換えて考える機会になったと思います。子供の為が本当に子供の為になっているのか？親の都合を優先させていないか？絶えず自問する事が私達が日常的にできる大事な事ではないかと思います。

※今回ケーキと飲み物の用意など当事者の方にお手伝い頂きとても助かりました!

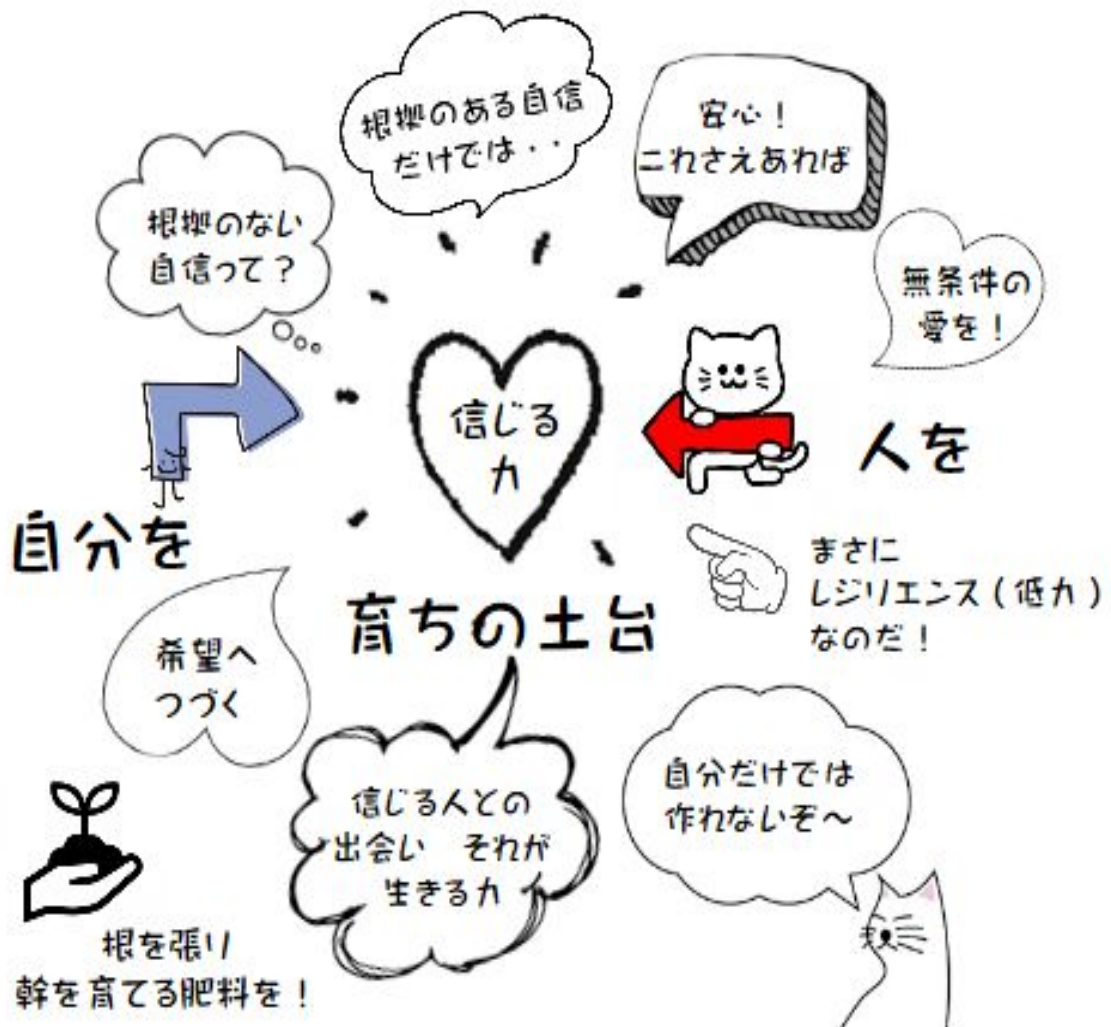
当事者 Voice



♪ 11月16日(土)に開かれた当事者スペースの報告

- * 福祉プラザ 1F パソコン室にて13時30分～16時30分
- * 当事者 7名 関係者 1名
- * スペースにおける内容
 - ・チェックイン (今年の反省など)
 - ・フリートーク
 - ・家族会からケーキをいただき、ロビーで食べる
- * 感想
 - 寒いなか、みなさんが集まってくれました (米長)

育ちの土台 自分を信じる力 & 人を信じる力



1 月月例会



親のひきこもり大学

- * 日時 1月13日(月) 13:30~16:30
- * 場所 **ぴゅあ総合会議室** → **場所に注意してください!**
- * 参加費 一家族 1000円 (当事者は無料)
- * 内容

久しぶりの「親のひきこもり大学」です。
親や家族はひこもった子供、生きづらさを持った子供に対して「何故?」という疑問から「そうだったのか・・・。」という受け入れへと変化していきます。その過程での苦しみ葛藤は親を一人の人間としての育ちへと導かれていりるように思うのです。そして、今の社会の在り様の中で社会がどのように変化しなければならないのかということも彼らから学べるのだと思います。今回は何人かの家族の方からひきこもり、生きづらさを持った子供と共に試行錯誤している日々を語って頂きます。寒い季節、心が「ポッ!」と暖かくなりますように・・・。「そして、気持ちだけでも前へ一歩、一歩です。」



当事者スペース

1月13日(月) 13時30分~16時30分 ぴゅあ総合 小研修室2



1 月ミニグループトーク

- * 日時 1月26日(日) 10時~12時
 - * 場所 ぴゅあ総合 3F音楽室
- 少人数でゆったりとお互いに語り合う場です。参加費は500円です(当事者は無料)

農園でギャザリングしよう!

画55m²(約17坪) 1年間 市民農園:1区6.000円
場所: 甲府市七沢町
友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか!
お問い合わせ: 055-243-0261 (相良農園)

すみれ会

月例会 1月11日(土)13:30~15:30
場所: 南アルプス市市民活動センター
お問い合わせ: 090-5416-8748 (清水)
*すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です

自然の中で農作業(さくらんぼ・西洋梨)に関わりながら
社会に出るきっかけのお手伝いが出来ればと思います。
ご興味のある方は、御連絡下さい 岩原果樹園(090-8178-8031)

2月の予定



月例会	2月15日(土)	福祉プラザ	4F会議室
当事者スペース	2月15日(土)	福祉プラザ	パソコン室
ミニトーク	2月29日(土)	福祉プラザ	第2会議室

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局

